

地元とともに自然とともに 再エネで地域活性化に貢献

専務取締役 木原 寿彦氏



小水力・地熱

九州を基盤に、地域主導による再エネ導入を支援し続けるエネフォレスト（大分県）。木原寿彦氏は、同社の再エネ事業を立ち上げ、小水力を中心に様々なプロジェクトを手掛けてきた九州再エネ界の若きリーダーだ。再エネへの熱い想い、目指している未来について話を聞いた。

売電収益を用水路の維持管理に活かす

再生可能エネルギー事業を立ち上げ、実際に発電

所の建設を進めていく中で、切実な問題を抱える地域の現状を知りました。例えば農業従事者の用水路の維持管理の負担があり

ます。農家の負担が大きいことが農業をやりづらい環境を作り出し、さらに農業従事者が減少する。今の日本の

農業はそんな悪循環に陥っていることが、この事業を通じて見えてきたのです。

事業を通して、地域のために役立ちたい

弊社の強みの一つは、

小水力発電・地熱発電・太陽光発電を中心に「幅広い発電システムを提案できるノウハウ」です。

現在九州内7カ所です。弊社が建設した小水力発電所が稼働しており、地元大分県内では地域の皆様と連携した地熱発電プロジェクトが進行しています。

二つ目の強みは、計画の立案、調査、発電システムの設計・製作、施工、完成後の運用管理までを、「一括受注から一部業務の請負まで、ご希望に合わせて提供できる」ことです。お客様の「ご要望や計画地の特徴に合わせて、柔軟に発電装置を開発できる技術力があります。」

そして三つ目は、「事業を通じて地域活性化のお手伝いをしたい」という熱い想いです。

豊かな資源を未来に還元させるために

現在に至るまで様々な壁がありました。発電システムの不具合、地域の方々との向き合い方、資金繰り……挙げればきり

がありませんが、どんなときも「必ずできる」と信じてやってきました。現在大分県内で進行している地熱発電プロジェクトも、当初は「民間企業が掘削から行う地熱発電事業は前例がないから難しい」という声がありました。しかし多くの方々のご協力をいただき、私たちの信念を曲げ

ることなくやり続けた結果、現在はプロジェクトも噴気試験の段階まで漕ぎ着けました。

再生可能エネルギー事業を通じて、日本の農業に活気を取り戻すお手伝いをしたい。人々が安心して暮らすことができる環境づくりを実現するお

手伝いをしたい。そんな想いを持ちながら、これまで事業を進めてきました。地域の豊かな資源

が、そこで暮らす人々の生活、そして未来に還元されることが私たちの目指すエネルギー事業の姿です。



安部重機建設小水力発電所(大分県)